



附属大塚 学校だより

令和4年度 第4号 2022年9月16日発行

9月のおたより - 本校の研究活動について -

2学期になり、学校は再び活気に溢れています。2学期は夏の終りから冬の初めまで3つの季節にまたがる長い学期です。幼児児童生徒の皆さんは、毎日元気に登校し生き生きと学校生活を送っています。学校では、様々な学習活動や行事が計画されています。とても楽しみです。

今号では、学校生活の柱である教育活動の基となる学校研究について特集します。大塚特別支援学校は、文部科学省から4年間の研究開発学校として指定を受けました。これまで取り組んできた国語や算数・数学に続き、これからは知的障害特別支援学校の社会科の学習について、各方面と連携しながら深めていきます。本校の研究開発は、研究部というセクションが牽引しています。各学部の代表と部長（研修主任）で構成され、日々研究の内容や方法について検討・協議し、全校の取り組みを整理統合しています。研究部の先生方に、研究開発の概要と、本校の今後の取り組みについて紹介していただきます。

2022年度
研究開発学校指定書

筑波大学附属大塚特別支援学校
を教育研究開発実施要項
(平成13年1月6日文部科学大臣 告示)
に基づき令和4～7年度
研究開発学校に指定します。

令和4年4月1日

文部科学大臣 末松信介

学校研究のご紹介

日頃より学校研究に対しても温かなご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。保護者の皆さまのサポートをいただくことで、学校研究も少しずつ積み重ねることができています。

さて今年度より本校では、文部科学省研究開発学校の指定を受けた学校研究（4年間計画）への取り組みをスタートしました。これまであまりお伝えできなかった研究について、この機会を通してお伝えできればと思います。

研究開発学校とは？

研究開発学校とは、文部科学省より右記のように説明されています。普段学校では、学習指導要領に基づいて計画的に授業を実施しています。研究開発学校の指定を受けた学校は、独自に考える課題を設定し、様々な実践を通してその課題解決を図る仕組みです。ただし、全く新しい課題を設定し自由に教育実践を行うことができる…ということではなく、これまでの実践と課題をしっかりと踏まえ、これから先の教育を考える有益な実践である必要があります。

文部科学省

教育実践の中から提起される諸課題や、学校教育に対する多様な要請に対応した新しい教育課程（カリキュラム）や指導方法を開発するため、学習指導要領等の国の基準によらない教育課程の編成・実施を認める制度。

研究開発学校に取り組んでいる学校は？

2021年度時点で本校に先行して取り組んでいる学校は次ページの図の通りです。

2021年度をもって最終年次を迎えた学校もありますが、本校のように2022年度に新たに指定を受けた学校も含めるとおよそ30数校がこの制度に取り組んでいます。

文部科学省文部科学統計要覧（令和2年版）※によると、全国の学校数は56,912校に及ぶそうです。要覧は大学等も含む数ですので、あくまでも参考ですが、大学等を除くおよそ50,000校あるうちの30数校が研究開発学校制度（以下“制度”）に取り組んでいるという見方もできます。

また、特別支援学校については、全国にある特別支援学校1,146校（要覧より）のうち、制度に取り組んでいる学校

は本校も含めて現在は4校となっています。制度への応募はもちろん学校任意ですし、学校によっては他の文部科学省の研究事業に取り組んでいる学校もありますので、あくまでも参考程度として考えていただければと思います。一方でこのように分析すると制度に取り組む学校への期待と責任は大きいものであると感じています。

※文部科学省「文部科学統計要覧(令和2年版)Ⅰ. 学校教育総括」 閲覧(2022/9/14)

先行して取り組んでいる学校 (2021(令和3)年度時点)

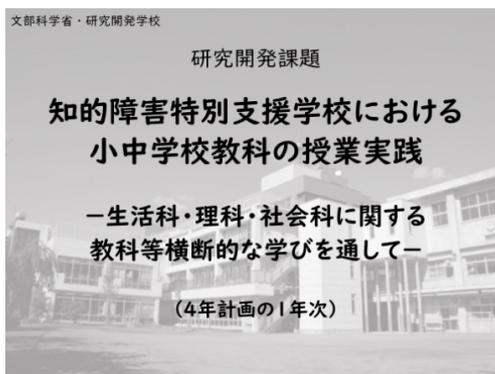
①東京学芸大学附属大泉小学校	⑩目黒区中目黒小学校 外14校
②新潟大学教育学部附属長岡中学校 外2校園	⑪町田市立町田第五小学校
③東川町立東川小学校 外6校園	⑫福津私立上西郷小学校
④北海道夕張高等学校 外8校	⑬大分県立安心院高等学校 外9校
⑤住田町立世田米小学校 外4校	⑭幼保連携型認定こども園にしばる 外3園
⑥お茶の水女子大学附属幼稚園	⑮筑波大学附属小学校
⑦福井大学教育学部附属義務教育学校	⑯岐阜大学教育学部附属小中学校
⑧京都教育大学附属京都小中学校	⑰信州大学教育学部松本中学校 外2校
⑨広島大学附属三原中学校 外2校	⑱千葉県立特別支援学校流山高等学園
⑩山口大学教育学部附属山口小学校	⑲熊本県立ひのくに高等支援学校
⑪香川大学教育学部附属坂出中学校	⑳金沢大学附属中学校
⑫上越市立大手町小学校	㉑愛媛大学附属高等学校
⑬お茶の水女子大学附属小学校	㉒金沢大学附属特別支援学校
⑭東京学芸大学附属世田谷小学校	㉓福岡市立舞鶴中学校 外2校
⑮福岡教育大学附属福岡小学校	㉔神戸大学附属中等教育学校
⑯東村山市立久米川東小学校	※開始・終了年度は学校によって異なる

本校が取り組むこと

制度の趣旨や教育分野のニーズ等を踏まえて、本校の研究開発課題(テーマ)を右記の通り設定しました。

学習指導要領の改訂、インクルーシブ教育の進展等に伴い、児童生徒一人一人に応じた学習に関する内容面・環境面等が整えられてきています。その中の課題の一つとして、「学びの連続性」ということが挙げられています。小学校、中学校、特別支援学校と、それぞれの学びの場の良さを活かしながら、どのような教育課程等であれば、子どもたちの学びの連続性にアプローチできるか?といったことについて実践とともに考えていきます。

また、特別支援学校における教科学習のニーズが高まっていることも背景の一つにあります。その中でも、これまでの動向から、本校では生活科・理科・社会科を対象教科としました。学習の主役である子どもたちにとって、分かりやすく進んで学ぶことのできる教科学習の在り方も発信していきたいと考えています。



これからも大事にすること

私たち大人が「教科学習」や「生活科・理科・社会科」の授業をイメージすると、難しい内容や専門的な用語が思い浮かぶかもしれません。でも、学校研究や実際の授業ではそのようなことはなく、子どもたちを第一に考えて授業を計画していきます。特別支援教育の理念や学校教育目標等を土台にして、一人一人の豊かな学びの実現に向けて全校で取り組んでいきます。ぜひご安心ください。

夏休み期間中の研修の様子

夏休み期間に2日間の研修会を実施しました。講師の先生から、様々な指導助言をいただくことで、授業のイメージを具体化することができました。これからも、私たち教員も学び続けていきたいと思っています。



研修会もオンラインや対面を状況に応じて使い分けながら実施しました。不安定な状況が続きますが、これからもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。